

第1号議案

令和7年度事業報告及び収支決算に関する件

〔I〕令和7年度事業報告書

自 令和7年 4月 1日

至 令和8年 3月 31日

【令和7年度の重点事項】

1. JAS・食品表示制度（以下「JAS 制度等」という。）を巡る様々な動向を踏まえ、情報収集を行うとともに、農林水産省はじめ関係省庁の指導の下、関係団体と連携を図りながら JAS 制度等の運用について積極的な役割を果たすよう努力した。
2. 関係団体の協力を得て、下記の諸事業の実施等を通じ JAS 制度等の普及啓発及び情報発信等に努めた。

【諸事業の実施】

1. JAS 普及啓発事業

(1) 情報誌の発行・配布による広報活動

情報誌「JAS と食品表示」については、各方面の関係者へのインタビューや検討会等の取材を通じて幅広く情報を収集し、JAS 制度等に関連する情報を中心に、林産及び有機関連の内容も含めて毎月1回発行し、関係団体・事業者、関係行政機関、消費者団体等に配布した。また、講習会・セミナー等の参加者へ情報誌を配布するなど、会員及び定期購読者の拡大に努めた。さらに、令和5年度に開始し、令和6年度から全会員への案内を開始した会員向けの電子版サービスにおいては、好評を得て利用者が増加している。

(2) ホームページ、SNS、メール配信等による情報発信

協会ホームページの改修を行い、内容の一層の充実に努めるとともに、JAS 制度等に関する講習会やイベントをはじめとした有益な情報を、見やすく提供した。

また、公式 X 及び Instagram において、引き続き「JAS と食品表示」に関する紹介を行った。さらに、団体会員に対して迅速な情報提供が必要な場合には、メールにより最新情報を発信した。

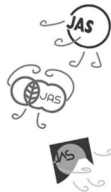
(3) 普及素材の作成及び普及活動

JAS 協会公式キャラクター「じゃすひめちゃん」について、既存のキャラクター入リス

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
ポップアップステージ 西
期日：令和7年6月7日



JAS、万博へ



6/7 (土)
10:30-13:00



ポップアップステージ西に、
JAS（日本農林規格）が登場予定！
万博から、JASと一緒に
世界をもっと豊かにならしましょう！

※特設ブースは今後の変更が生じる可能性があります。

農林水産省が大阪・関西万博において、「農林水産業と食文化の発展は世界をもっと豊かにつなぐ」をコンセプトとした展示を実施したことに伴い、ポップアップステージ西におけるイベントに協力し、JASの普及を行った。特色JASや有機JAS等に関する紹介を行い、JASの理解促進につながる良い機会となった。

また、JASの新しいキャッチフレーズの投票を実施し、来場者の関心を集めた。

（来場者数：約1,000人）



JAS マーク探しの様子
写真：情報誌8月号「JAS室だより」より

イトーヨーカドー大森店「知りたいJAS展」
期日：令和7年8月20日



イオンスタイル碑文谷「知りたいJAS展」
期日：令和7年8月24日～25日



イトーヨーカドー大森店及びイオンスタイル碑文谷において、JAS製品の展示を実施した。来場者に対し、子供にはJASマーク付きの風船やうちわを配布し、大人にはリーフレットの配布や対面での説明を通じて、JASマークの意味や役割の理解促進を図った。

また、JAS認知度アンケート調査を実施し、回答した来場者に対して、当協会のマーカーペンやステッカーシール等を配布した。企業との連携により広範な普及活動を実施することができた。



農林水産省「消費者の部屋」特別展示
 期日：令和7年11月10日～14日



農林水産省の「消費者の部屋」でのJASの特別展示で、JAS製品の紹介とJASのしくみを紹介するイベントに協力した。JASキャッチフレーズである「日本の基準、確かな品質。JASマーク」をテーマに、関係団体・企業から提供されたJAS製品が展示された。一般JAS、有機JAS、特色JASが付いた様々な飲食物品に加えて、普段見る機会が少ない林産物のJASコーナーも設けられ、JAS製品の広がりをも新たに発見してもらう良い機会となった。また、入場者が自由に持ち帰るようにJASマーク付きの付箋を置いたところ、大変好評だった。

(来場者数：5日間で延べ493人)

2. JAS 講習事業等

(1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品のJAS認証申請製造業者及び認証製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を次表のとおり会場とライブ配信で実施した。

開催日（2日間）	場 所	受講者数	内 容
【第1回】 令和7年 5月22日～23日	鉄鋼会館 （東京）	会 場 34名 WEB 101名	<ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 制度について ・ 食品表示について ・ 品質管理概論 ・ 食品の安全性 ・ 食品工場における衛生管理 ・ 品質管理活動の実際 ・ 確認テスト 「JAS 制度と食品の表示」
【第2回】 令和7年 10月7日～8日	鉄鋼会館 （東京）	会 場 39名 WEB 71名	
【第3回】 令和8年 2月17日～18日	鉄鋼会館 （東京）	会 場 23名 WEB 79名	

(2) 有機関係 JAS 講習会の開催

有機加工食品の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者、外国格付表示業者及び輸入業者を対象とした JAS 講習会を次表のとおり実施した。また、第 3 回講習会においては、新たに有機農産物を対象としたコースを加えて実施した。実施方法については、第 1 回及び 2 回は同時ライブ配信を行い、第 3 回は WEB のみで実施した。

[有機加工食品 JAS 講習会]

開催日	場 所	受講者数	内 容
【第 1 回】 令和 7 年 6 月 18 日	鉄鋼会館 (東京)	会 場 4 名 WEB 40 名	・ 総論 ①JAS 法及び有機食品の検査認証制度 ②有機加工食品（及び有機農産物【第 3 回】） の日本農林規格及び認証の技術的基準
【第 2 回】 令和 7 年 11 月 5 日	鉄鋼会館 (東京)	会 場 9 名 WEB 27 名	・ 各論（業種ごとにコース分け） <u>A コース 有機加工食品</u> (生産行程管理者・小分け業者対象) ①生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法（外国格付表示を含む） ②小分けの方法及び格付の表示の方法
【第 3 回】 令和 8 年 2 月 5 日	WEB 開催	WEB 36 名	<u>B コース</u> （輸入業者対象） ③輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法 <u>C コース</u> 有機農産物（生産行程管理者） ④【第 3 回から】生産行程管理の管理又は把握の方法及び格付の方法

(3) 特別セミナー等の開催

(ア) 情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。何れも同時ライブ配信を行った。

開催日	場 所	参加者数	内 容
令和 7 年 6 月 26 日	主婦会館 (東京)	会 場 23 名 WEB 272 名	1. 「食品表示制度の最近の動向と今後について」 ・ 個別品目ごとの表示ルール見直し ・ 食品表示へのデジタルツール活用 ・ 包装前面栄養表示（FOPNL） ・ アレルギー表示 講師：消費者庁 食品表示課の各制度担当官 2. 「最近の食品表示違反の傾向とその未然防止

			<p>について」</p> <p>講師：綾戸 隆英 氏 農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課 米穀流通・食品表示監視室長</p> <p>3.「食品防御対策ガイドライン（中小企業・デリバリー編）解説」</p> <p>講師：神奈川 芳行 氏 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 非常勤講師</p>
<p>【林産】 令和7年 7月29日</p>	<p>製粉会館 (東京)</p>	<p>会 場 9 名 WEB 80 名</p>	<p>1.「木材輸出を巡る状況と今後の展開」</p> <p>講師：坂井 俊朗 氏 農林水産省 林野庁 林政部 木材利用課 課長補佐</p> <p>2.「協和木材株式会社における林産資源利用の実績とビジョン」</p> <p>講師：井上 睦月 氏 協和木材株式会社 山林部 山林課</p> <p>3.「T-スキャナーの開発の歴史について」</p> <p>講師：溝口 祥司 氏 株式会社太平製作所 取締役 新事業推進部長 兼 大阪事業部技術営業部長</p> <p>講師：小西 浩司 氏 株式会社太平製作所 大阪事業部 T-スキャナー開発チームリーダー</p>

(イ)時宜に適した食品表示セミナーを年4回開催した。

(ウ)今年度より HACCP 実践的講習会を年2回開催した。

3. 農林水産省補助事業

(1) 令和6年度 JAS の普及対策事業（令和6年度補正予算）

（令和7年1月～令和8年3月）

有機 JAS 認証取得、有機 JAS 資材リスト登録、認証機関の検査員研修、リモート調査機材導入の支援並びにその効果を実証する事業を実施した。支援対象者に対して補助金総額 2,110 万円を 238 事業者、14 登録認証機関に交付し、その結果を集計、分析の上報告書として取りまとめた。また、生産行程管理記録等の作成の効率化に関する検討も併せて実施し、その成果を報告書にまとめた。

(2) 令和7年度 JAS の普及対策事業（令和7年度補正予算）

（令和8年2月～）

有機 JAS 認証取得及び認証機関の検査員研修の支援並びにその効果を実証する事業で、支援対象者に対して補助金の交付と調査を行う。また、「有機農産物検査認証制度ハンドブック」の改正等に向けた調査・検討を行い、改正案を作成する。令和8年3月末までに補助金交付に係る実施規定・申込要領作成等の公募準備並びに既存のハンドブックの活用状況に関する調査を実施した。繰越申請が認められたため、令和8年度内に全ての業務を終了させる予定。

4. 農林水産省委託事業

(1) 令和7年度社会的課題に対応する規格等の活用・普及推進調査委託事業

（令和7年4月～令和8年3月）

JAS の制定・活用・普及を進める事業で、優良事例のヒアリング、JAS の普及案の策定及び実行、研修会の開催、JAS 化のニーズ・シーズの収集や検討等を実施した。

5. 消費者庁委託事業

(1) 令和7年度「魚介類の名称のガイドライン」検討委託業務

（令和7年4月～令和7年12月）

魚介類のガイドラインの改正に係る検討については、令和元年度に魚類、令和3年度は甲殻類、令和6年度に頭足類を対象として実施してきたが、令和7年度は貝類を対象とした検討会を計3回開催し、その内容を取りまとめた報告書を提出した。

(2) 令和7年度新たな加工食品の原料原産地表示制度に係る表示実態調査

（令和7年8月～令和8年1月）

現在流通している商品について、新たな加工食品の原料原産地表示制度における表示実態を調査するため、スーパーマーケット1店舗において任意に抽出した商品2,319点の表示部分を撮影し、その画像を整理・分析の上、調査報告書を提出した。

(3) 令和7年度原料原産地表示の消費者理解度に関するインターネット調査

（令和7年8月～令和8年3月）

原料原産地表示制度に関する消費者の理解度について、全国の任意の5,000名に対してインターネット調査を実施し、その結果を整理・分析の上、調査報告書を提出した。

(4) 日本版包装前面栄養表示の様式案の作成支援業務

（令和7年8月～令和8年1月）

昨年度の本事業の検討会において提出した日本版包装前面栄養表示の様式案について、消費者アンケートの結果及び検討会における意見を反映し、様式の最終版を作成の上、提出した。

6. JAS 規格集等作成販売事業

前回の追録実施（令和7年1月）以降に JAS 規格等が一部改正された品目について、その内容を整理した JAS 規格集（15 巻）を追録として発行した。

7. 支援業務等事業

有機 JAS 認証機関設立のためのセミナー及び JAS 制度の研修への講師派遣、表示に関する執筆等、JAS 制度や食品表示などに関する指導・教育・研修等の支援業務を積極的に行った。

8. 諸会議の開催

(1) 総会

当協会定款に基づき、次表のとおり総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
(定例) 令和7年 6月23日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	・ 令和6年度事業報告及び収支決算に関する件 ・ 会費及び賛助会費の額並びに納入方法に関する件 ・ 役員の改選に関する件

(2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
【第1回】 令和7年 5月13日	書面決議	・ 令和6年度事業報告及び収支決算に関する件 ・ 会費及び賛助会費の額並びに納入方法に関する件 ・ 役員候補者に関する件 ・ 令和7年度通常総会の開催に関する件
【第2回】 令和7年 6月23日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	・ 役付理事の選任に関する件 (会長、副会長及び専務理事の選定について)
【第3回】 令和8年 3月5日	製粉会館 (東京)	・ 令和8年度事業計画及び収支予算に関する件

(3) 連絡協議会

当協会の団体会員の出席を得て、次表のとおり農林水産省等との連絡協議会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
令和 8 年 1 月 30 日	製粉会館 (東京)	<ul style="list-style-type: none">・ JAS をめぐる最近の動向について 農林水産省 基準認証室 谷室長・ 令和 7 年度補正予算及び令和 8 年度の予算について 林野庁 林政部 木材産業課 立花課長補佐 農林水産省 基準認証室 松山課長補佐・ JAS の格付検査方法及び JAS 新規格の検討状況について 農林水産省 基準認証室 伊藤課長補佐・ JAS 登録認証機関の登録基準である ISO/IEC17065_改正 (追補) への対応等 FAMIC 登録審査課 大村課長・ 食品表示の現状と今後の課題 消費者庁 食品表示課 宮長課長・ 脱炭素社会に向けた木材産業と林産物 JAS の展望 林野庁 林政部 木材産業課 川原室長

(4) 有機 JAS 関係団体情報連絡会

当協会の団体会員及び賛助会員の登録認証機関の出席を得て、次表のとおり農林水産省との情報連絡会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
令和 7 年 12 月 23 日	WEB 開催	<ul style="list-style-type: none">・ 有機 JAS を取り巻く最近の状況と今後の取り組み ～有機同等性の交渉・来年度予算要求関係・その他～ 農林水産省 基準認証室 佐藤課長補佐・ JAS 国際標準化への動き 農林水産省 基準認証室 山田課長補佐・ データにみる有機食品市場の動向とアジアの動き 摂南大学 食農共生・循環型農業系 持続型フードシステム研究室 谷口准教授・ FAMIC が実施する立入検査等の結果について FAMIC 登録審査課 奥村専門調査官